—あなたと市議会を結ぶ—

つやま市議会だより

73号

平成26年11月10日発刊

９月定例会のトピックス

議案などに対する審議結果は　２～３

市政のあり方を問う

23人の議員が一般質問　４～11

議会からのお知らせ

第４回議会報告会を開催しました　12

発行／津山市議会
編集／広報調査特別委員会
津山市山北520
TEL 0868-32-2140
FAX 0868-32-2160

つやましぎかい　検索

議会がチェック!!

9月定例会

9月定例会では26件の議案等を審議しました。
議論した議案等のうち、主なものを紹介します。

条例・推薦　農業委員会に女性農業者の登用・参画を市議会が推進

今回の議会では「農業委員会の委員定数・選挙区等に関する条例」の一部改正を行い、議会が推薦する農業委員会委員の人数を現在の「3名」から1名増やして「4名」とし、農業委員会へ女性農業者が登用・参画できるよう整備しました。この条例の可決を受けて、市議会は新たに女性農業者1名を農業委員会委員として推薦するよう提案し、全員一致で決定しました。

産業委員会での質疑

Q **執行部は新しい女性農業委員に何を期待しているか。**

A 農産物の生産だけではなく、加工や流通・販売への経験や知識を持ち、また生産者と消費者の両方の立場がわかる女性の意見を農業委員会の中へ反映していただけることを期待する。

予算・条例　いじめ問題に対し、市の組織的な対応と対策は？

いじめに関する法律の成立や、津山市いじめ問題対策基本方針の策定を受けて提案された補正予算や条例に対し、議会ではいじめ問題の対応や対策に関する津山市の考え方について質問しました。

総務文教委員会での質疑

Q **いじめ問題に対し、市としてどのように取り組んでいくのか。**

A 国の制度化によって学校現場や教育委員会がいじめ問題に取り組む方向性は、今回の市の基本方針の中にしっかりと盛り込んでいる。また、学校現場でもいじめ問題の主体は子どもに主眼を置くことを忘れず、今後も子どもをいじめから守り、市全体で責任を持って教育に取り組みたい。

条　例　子ども・子育て支援新制度に合わせ、市の支援基準を決定

国の子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、「放課後児童健全育成事業」などの子育て支援施策に関して、津山市の基準を定める3つの条例が提案され、議会で決定しました。

厚生委員会での質疑

Q **放課後児童健全育成事業に関し、児童クラブ間の格差をなくし全体の水準を向上させる必要性を、当局はどのように考えるのか。**

A 条例の制定により、児童クラブに対する市の責任が一層明確になるので、全体の水準向上や格差の是正も含め、さらなる取り組みに努めていきたい。

関連質問　市内にある土砂災害危険区域の周知・啓発の現状は？

広島市で発生した集中豪雨による大規模な土砂災害を受けて、市内にある土砂災害危険箇所をいかに市民に周知・啓発していくか、その重要性について意見が数多く出されました。

建設水道委員会での質疑

Q **市内にある土砂災害危険区域の調査と状況、また住民への周知方法はどうしているのか。**

A 土砂災害危険区域の調査は岡山県が実施。この調査結果に基づき、危険箇所や警戒区域は「ハザードマップ」などへ掲載している。また県の警戒区域の指定のあるなしに関わらず、市内で把握している危険箇所についても、基礎調査の際に地元説明を行うなど、住民へ周知徹底を図っている。

トピックス

9月定例会の会期 ⇒ 9月1日～26日（26日間）

請　願　ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求めた請願を採択

9月定例会に提出された「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願」は議会で議論を行った結果、趣旨に賛同し請願を採択して、国に意見書を送付しました。

請　願　特定秘密保護法の廃止を求める請願は不採択に

6月定例会から継続して審査中であった「特定秘密保護法の廃止を求め、津山市議会として国へ意見書を送付するよう求めた請願」は、現在国が制度を進めている状況から意見書の送付は困難と判断し、賛成者少数で不採択としました。

人事案件　農業委員会委員の選任　その他の人事案件に同意、推薦決定

農業委員会委員　溝口節子さん（押入）
公平委員会委員　土居幸徳さん（岡山市北区天神町）
情報公開・個人情報保護審査会委員
飯綱浩二さん（鏡野町古川）　長谷川勝一さん（北園町）
江原由美子さん（弥生町）　保田佳子さん（野村）
清水稔さん（河辺）
固定資産評価審査委員会委員　清水弘枝さん（小原）
人権擁護委員候補者　岡本輝昭さん（吹屋町）

討　論　子ども・子育て支援新制度に関する条例化について

子育て支援事業計画の完成時に条例を提案すべき

津山誠心会議　安東伸昭

子育て支援に資する制度化に反対するものではないが、現在市が策定中の「津山市子ども・子育て支援事業計画」が完成する前であり、関連条例の提案時期に問題があると考える。よって新制度に関連する条例案に反対する。

子ども・子育て新制度への移行はまだ早い

市民と歩む会　黒見節子

子ども・子育て支援新制度の実施に向けて、津山市の実態をきちんと把握すべき。状況把握や市民や現場の意見など広く情報を収集すべきで、拙速に決めるべきではない。これらの議案に反対する。

討　論　特定秘密保護法の廃止を求める請願の不採択

戦争に向けて突き進む国の政策に反対

日本共産党津山市議団　久永良一

かつての国民は日本の重要情報を知らされぬまま、戦争へ突入した。安倍内閣は戦争に向けて突き進んでいる。特定秘密保護法の廃止を求める請願を採択して、津山市議会として国へ意見を上げるべき。よって不採択と結論づけた委員会審査報告に反対する。

議案等への賛否状況一覧表

平成26年9月定例会

議案番号	議案名（請願名）＼議員名	秋久憲司	安東伸昭	岡田康弘	岡安謙典	小椋多	神田栄作	木下健二	黒見節子	河本英敏	近藤吉一郎	末永弘之	田口慎一郎	竹内邦彦	竹内靖人	津本憲一	津本辰己	中島完一	西野修平	野村昌平	原一行則	久永良一	松本義隆	村田隆男	森岡和雄	森西順次	山田誠	吉田耕造	審議結果 賛成：反対	審議結果 議決結果
第24号	津山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	24：3	原案可決
第25号	津山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	24：3	原案可決
第26号	津山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	24：3	原案可決
請願第4号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての請願	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	6：21	不採択

※　○：賛成　×：反対
※　賛否状況は議員の申告等に基づいて作成しております。
※　川端恵美子議員は議長のため、採決には加わりません。
※　その他の議案等は原案可決、原案同意、原案答申、採択となりました。

市政のあり方を問う

９月定例会では、23人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

津山新星会議
小椋　多

全国学力テストの結果 津山市の対策は？

Q 教育 今回の学力テストの結果が芳しくなかったと聞くが、学力向上対策と今後の取り組みは。

A 教育長 市と学校がこれまで取り組んできたことの結果として厳粛に受け止める必要がある。調査結果の成果と課題を受け止めることで、教員の意識改革や日々の授業改善が進み、子どもたちの学力が向上するものと考える。

子育て対策の取り組み強化策は

Q 少子化 津山市でも少子化が危惧されている。人口減少対策、そのビジョンは。

A 市長 全ての分野に取り組む必要があるが、市の実情に合わせ産業振興などに焦点をあてた取り組みを行い、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

他の質問　防災

津山誠心会議
野村昌平

本市の土砂災害対策 その備えは

Q 防災 土砂災害対策と自主防災組織の津山市の現状は。

A 部長 危険箇所は市内の589カ所が指定を受け、対策は県で取り組み105カ所が整備済。自主防災組織は154組織が結成済で世帯組織率は92.6％。防災資材や防災士の資格取得等に要する経費に対し、一定額を助成する制度を新設し、設立促進と育成強化に取り組んでいる。

不動産の売買が成立 卸売市場の再出発へ

Q 産業 総合食品卸売市場の最終決着は。

A 副市長 協同組合名義の不動産については、破産管財人から売買されたとの報告を受けた。青果部門を中心に県と事業者で卸売市場開設権の継承が進行中。税債権の回収については破産手続の継続中であり、申し上げることはできない。

朝の食品卸売市場全景

他の質問　公共交通

新風会
岡田康弘

市議と市長 同日選挙にしては

Q 行革 **①市議と市長の同日選挙を行えば費用が削減できるのでは。②市長の４年間の任期を短縮する気持ちはないか。**

A 市長 ①自治体において法に従い首長や議員の選挙を行うことは、地方自治の根幹に関わる民主主義の中で最優先されるコストと認識している。②山積する課題を私の手で成し遂げるため、任期中は私の使命を果たしたい。

空席の水道事業管理者 責任の所在は？

不在の水道事業管理者室

Q 水道 **水道事業管理者が空席だがどうするのか。適任者がいなければ公募を。管理者をおかないのなら市長を責任者とすべきでは。**

A 市長 水道事業は現在重要な時期にあり、下水道事業との統合の方向性を見定め、よく検討して判断したい。

緑風会
木下健二

活力あるまちづくり 津山はどうか

Q 産業 **津山市の活性化はまず企業誘致、雇用の確保だと思う。阿部俊子議員も農林水産副大臣に就かれ、宮地市長を先頭に新たなものづくりに取り組んではどうか。**

A 市長 国や県の総合戦略に示される新たな施策や財源措置を取り入れて、意欲的に取り組んでいきたい。

市営住宅の老朽化 高額滞納者への対策は？

Q 住宅 **民間賃貸住宅を借り上げ、市営住宅として活用してはどうか。高額滞納者について、どう整理していくのか。**

A 部長 老朽化した大規模住宅団地は建て替え、小規模のものは廃止する。民間賃貸住宅の借り上げ方式も検討する。高額滞納者には来庁を求め納付指導をしていく。

老朽化が進む市営住宅

他の質問 安心・安全のまちづくり

緑風会
竹内靖人

まちづくりと里山保全の 有効活用

鳥獣被害対策実施隊

Q 農業 **鳥獣害の駆除は鳥獣被害対策実施隊の人たちに行ってもらっているが、越境の課題がある。近隣町村と連携し、現実に見合った駆除が行えないか。**

A 部長 現在、広域駆除は有効に機能していない。近隣市町村との連携による広域的、効果的な駆除活動が行えるよう、現在、県を通じ調整を進めている。

Q 林業 **近隣市町村と林業行政の連携をし、付加価値づくりに取り組むべきでは。**

A 部長 津山市の林業の成長産業化には、市単独ではなく、地域全体で取り組む必要がある事業も考えられる。今後策定する成長戦略実行計画で、どのような連携が可能か検討したい。

津山誠心会議
中島完一

今なぜ美術館整備なのか

Q 文化 **「津山市美術館構想審議会」では、美術館自体が必要かどうかについても議論されると聞いているが、施設の規模や展示物、維持経費について市長の考えは。**

A 市長 津山市の身の丈にあった規模を審議会で検討していただく。展示物は莫大な費用をかけて購入することは難しく、津山市が所蔵している美術品と、他の美術館からの借り受けなどにより、工夫をこらした企画展示が必要である。

津山郷土博物館

Q 文化 **博物館の整備を優先すべきでは。**

A 部長 老朽化している郷土博物館の整備は今後の課題であるが、まずは美術館に集中して検討したい。

他の質問 津山駅前整備

公明党津山市議団
原　行則

産学官連携で企業活性を！！

Q 産業 **津山市での産学官連携の取り組み状況は。**

A 部長 津山高専と美作大学と連携している。高専プラザは会員企業69社で産学交流会、高専の教授による企業での出前講座、研究室の相互訪問等で新商品が生まれている。美作大学とは食料産業クラスターの商品開発で協力をいただいている。

米価急落で厳しい農業の現状は？

Q 農業 **①津山市の農業者の平均年齢と平均農地面積は。②今年の米価は。**

A 部長 ①全体の平均年齢は58.2歳で、そのうち主に農業に従事している人は平均70.2歳。一戸当たりの平均営農面積は72アールである。

②農協の概算金でコシヒカリ１等9,200円、あきたこまち１等8,200円となっている。

稲刈りの済んだ田んぼ

他の質問 国保医療

日本共産党津山市議団
久永良一

観光拠点づくりに向けさらなる促進を！

大橋から宮川を眺めて

Q 観光 **観光客を感動させる城下町の町並み景観の「復元」と、経済波及効果増の動きを加速するために①町家の修理・修景を促進②食事処、工房などの出店は容易でないため、促進させる専門的なチームをつくる③城南の「城下町づくり」の短期と長期の計画を策定する④宮川を観光スポットとする。**

A 部長 ①26年度は７件の町家の修理・修景を行い、可能な限り集中的、計画的に取り組む②地元、関係団体と協議する③地域のご意見をお聞きし「城跡周辺歴史まちづくり計画」をとりまとめる④魅力的景観の創造に努め、本年度から県の協力を得てパラペット※の美装化にも取り組む。

※パラペットとは…
河川のかさ上げ護岸のこと。

他の質問 防災、教育

神田栄作

水害、土砂災害に対する対策は

Q 防災 **災害警戒本部は風速、雨量等どのような状況になった場合に設置されるのか。**

A 部長 災害発生のおそれがあるときは、危機管理室を中心に準備体制を整える。大雨等の警報の１つ以上が発令されると、副市長を本部長とした「警戒体制」に移行し、市本庁に本部、また各支所に支部を設置し、防災関係機関等との連絡体制を整え災害に備えている。

災害警戒本部

地域の障害者福祉はどうなっていくのか

Q 福祉 **第４期障害福祉計画を策定するにあたっての市長の決意は。**

A 市長 関係者から意見を聴き、サービス利用を希望されている方の要望が少しでも多く実現できるよう取り組んでいく。

山田　誠

眠れないゲリラ豪雨で米価下落

Q 農業 **政府は農家所得倍増を目指しているが、農業資材は高騰、大幅な米価下落と不作、鳥獣被害の発生、まさに農家はトリプルパンチ。農村を取り巻く環境は年々厳しさを増している。市長はこうした状況を踏まえ、今後の農業振興をどのように進めるつもりか。**

A 市長 非常に厳しい状況の農業経営については、国の施策を最大限に活用して農業・農村を守りたい。また、２月に策定した市独自の成長戦略の基本方向にあるように、地元産品の６次産業化等による高付加価値化や、地域資源を活用したブランド化事業等、儲かる農業を目指し総合的に農業振興を進めていく。

こうべが垂れる稲穂

他の質問 防災対策

緑風会

西野修平

「つやま和牛」振興の旗揚げを期待

つやま和牛を全国ブランドに！

Q 農業 **肥育の素牛となる仔牛はどうするのか。**

A 部長 基本的には津山地域で生まれた仔牛に限定している。今まで各農家が繁殖し、松阪牛を初めとする有名ブランド牛の素牛として出荷されていた仔牛を市内で保留し肥育事業を行うよう調整中である。

山の状況を把握する取り組みを

Q 林業 **山に人が入り常に山の状況を把握することが災害を未然に防ぐことにもなるのでは。**

A 部長 里山の保全管理について複数の団体が活動を行っており、今後取り組みの拡大と活動フィールドの提供等のできる支援を行っていく。

公明党津山市議団
岡安謙典

ワクチン接種の手続きの簡素化を

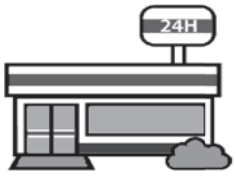
Q 健康 **10月より成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種が始まる。対象者への個人通知、接種券送付など接種手続きの簡素化が必要ではないか。**

A 部長 定期接種となる65歳から100歳まで、５歳刻みの方について個人通知を行い、接種券の送付など接種手続きを簡素化する方向で医師会と協議する。

コンビニ納税の導入を

Q 税金 **納税者の利便性向上のためにクレジットカード・コンビニ納税のシステムを導入すべきである。**

A 部長 全国の自治体50％以上がコンビニ納税を導入しており、平成28年度当初課税分からシステム導入を計画している。



平成28年度から市の税金などがコンビニで納付できるよう準備を進めています

他の質問 高齢者福祉

緑風会
秋久憲司

防災用の調整池は適正に管理せよ

津山中核工業団地の調整池

Q 産業 **中核工業団地用の調整池は土砂が溜まり農業用水も足らない。早急な解決を。加茂川など川の樹木の撤去をし、日上地区の低い堤防のかさ上げを。**

A 部長 調整池は管理不十分だった。堆積土砂の撤去、樋門の修繕など計画的に順次行う。川の樹木撤去・堤防のかさ上げは県と調整を図る。

拡散予想図の作成岡山県に要請すべき

Q 防災 **島根原発は再稼働の動きがある。事故に備えて放射性物質の拡散予想図を用意して対策を練るべき。県に作成を求めるべき。**

A 市長 可能な限り原発はゼロにし、市は有事の際に住民の安全を守る立場にあり、「放射性物質拡散予想図」の作成を岡山県に要請していく。

他の質問 市職場

市民と歩む会
河本英敏

学力の点数稼ぎでいいのだろうか

Q 教育 **津山市の学力は県内で下位というが、順位をつければ必ず一番もあれば最後もある。社会で生きるとは人と人が支え合うこと、一人では生きていけないということも同様に忘れてはいけない。津山の子どもの良いところを伸ばしてやりたい。また、心配なところはないか。**

A 教育長 調査結果での良いことは「地域の方との交流や挨拶がよくできる」「学級やグループの中で自分の考えを伝えることができる」などで、心配なことは「学校の決まりを守っているか」「自分にいいところがあるか」などで低い回答率であった。身近な大人から認められたい、しっかり見てほしいとの子供の思いがこの調査結果から感じとれる。

他の質問 防犯、救急医療

緑風会
森西順次

吉井川南岸地域のまちづくりは

Q 計画 平成28年度からの第５次総合計画の10年間で、吉井川南岸地域のまちづくりをどう進めるのか。

A 市長 この地域は津山駅など交通の結節点であり市の玄関口。南岸地域でも懇談会などの手法を用いて市民の声をお聞きする予定で、結果を計画策定に活かし住みやすくにぎわいにあふれた地域づくりの基礎にしたい。

南部汚水幹線の工事現場

100ミリ超のゲリラ豪雨へ対策は

Q 防災 ゲリラ豪雨になった場合、過去の被災地は大丈夫か。

A 部長 規模によるが部分的に冠水するのではと危惧している。平成10年台風10号の被災地は河川改修で一定の安全は確保できている。

他の質問 高齢者福祉

津山誠心会議
田口慎一郎

ため池調査の目的は

津山市に多数あるため池

Q 農業 市独自でため池調査を行っているが、今後どのように進めていくのか。

A 部長 一定規模のため池387カ所について、調査・機能診断を実施しデータベース化する。更にため池の総貯水量5,000トン以上、そして下流側に住居や公共施設などで被害が想定される箇所については氾濫解析を行う。これは土石流の方向や浸水範囲、氾濫水深などを図式化するもので、対象は約220カ所を考えている。また、人的被害が想定される危険ため池については、よりわかりやすい「ため池ハザードマップ」を早急に作成し、警戒避難体制の整備に努めていく。

他の質問 防災、子育て

緑風会
津本憲一

津山市の今後の老人介護について

Q 福祉 団塊の世代も高齢者の仲間入りをし、平成の大合併当時と現在の老人介護の変化について見解は。

A 部長 合併後の９年間で介護予防重視の制度へ転換が求められたが、現状は高齢者数の増加以上に認定者数、給付費が増加している状況にある。

旧田渕邸購入時の約束について

Q 歴史 購入時、田渕氏と武家屋敷田渕邸の保存について約束があったのか。

A 部長 購入の交渉において、武家屋敷資料館として保存展示する計画であることを説明。また、公開する際には田渕邸の名を残してほしいとの依頼があり、名称は残すと回答している。

田町武家屋敷跡　旧田渕邸

他の質問 観光、環境

津山新星会議
竹内邦彦

市場の各組合人に税債権の責任はあるのか

Q 税金 滞納状況である税債権に関しては、破産管財人に委ねられている中、個々の組合人に支払い責任は及ばないのか。

A 部長 個々の組合人の責任は、地方税法上、個々の組合人に第二次納税義務を課すことのできない法人であり、本市が個々の組合人に対し徴収及び処分を執行することはできない。

津山市における「ふるさと納税」の状況

ふるさと津山サポート寄附金

Q 税金 各自治体で差はあるものの、サービスによって人気のあるふるさと納税の津山市の状況は。

A 部長 平成25年度は481件約966万円のご寄附をいただき、本年度は８月末で1,500件を超え、金額で約1,700万円のご寄附をいただいている。

他の質問 子育て、定住

市民と歩む会
黒見節子

エネルギーの地産地消をめざす

佐良山小学校保健室に設置されているペレットストーブ

Q 環境 持続可能な環境問題の啓発、学校に導入したペレットストーブの状況は。

A 市長 学校では成長段階に応じて学習し、市民向けに出前講座、エコフェスタを開催し、さらに新エネルギー講座にも積極的に取り組んでいる。ペレットストーブは10台導入しており、地域産材ペレットの活用やより有効な設置場所などを検討したい。

貧困が連鎖することがないように

Q 子育て 子どもの貧困、子育て世代の貧困と支援は。

A 市長 就学援助の認定者数、ひとり親世帯が年々増加している。家庭の経済格差が子どもたちの学習環境に影響しないよう取り組む。母子自立支援員を２名配置し相談を受け、自立に向けて支援している。

他の質問 国保

津山新星会議
近藤吉一郎

スポーツ関連施設の継続を

Q スポーツ スポーツロッジを１年間テスト期間として今までどおり営業しては。

A 市長 津山スポーツセンターのリニューアルでスポーツロッジの利用率の高まりを受けて継続営業をしていただければと考えており、その方策について所有者の津山市都市整備公社と担当課で協議中である。

Q スポーツ グラスハウスの計画的な修繕を進める考えは。

A 市長 修繕の必要箇所が多岐にわたっており、全てに取り組むと膨大な修繕費がかかることが判明。この中には毎年の限られた修繕予算の中では対処しきれない大規模修繕も含まれるため、年次的修繕計画を策定し、効果的な修繕に努めていきたい。

グラスハウス

他の質問 津山駅前整備

日本共産党津山市議団
末永弘之

駅周辺整備に きめの細やかさを

Q 建設 事業推進に「反対」の声もあり、関係者の「心に届く」話し合いが必要ではないか。

A 市長 より一層市民目線に立って、関係者の理解が早期に得られるように引き続き全力で努力したい。

ＪＲ津山駅前

子どもを 大切にする教育は

Q 教育 安倍内閣になって、子どもたちの世界が「点数だけを取ればよい」という潮流が強くなり、友達を蹴落としても「勝てばよい」という競争主義が持ちこまれ、一人一人を大切にする教育から遠のいているのではないか。

A 教育長 学校の主人公は子どもたちである。子ども、保護者、地域と教員の心が通う教育を進め、学力の向上や豊かな人間性・社会性の育成に努めていく。

津山誠心会議
安東伸昭

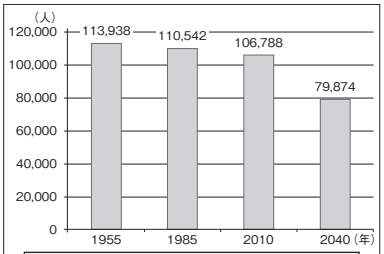
どうなる？ 津山市の人口減少対策！

Q 人口 日本創成会議の公表値（消滅可能性自治体）について、市長の所見は。

A 市長 人口減少社会への対応は、国を挙げて取り組む課題のため、今後、国、県の考え方も見極めながら、津山市は雇用の創出、子どもを産み育てやすい環境づくり、地域の魅力づくりなど、独自に対策を講じていく。

Q 広域 人口減少対策等、今後の行政施策は「連携」がキーワードになると考える。津山広域事務組合の業務範囲を広げるという考えは。

A 市長 人口減少社会を乗り切るために、津山広域事務組合の構成町とも情報の共有を行いながら、連携強化を図り、圏域の振興を推進していく。



津山市の人口動態

他の質問 学校給食

市民と歩む会
村田隆男

子育て支援の充実を 進めよう

Q 子育て 病児・病後児保育の現状は。実施箇所を増やす予定は。また休日保育の実状は。

A 市長 二宮の医療機関１カ所が実施中で、利用者数は年々増加しており、東部地域の開設を市医師会等にも相談している。３保育園で年間約550人の預かりで、実施園の拡大は利用状況を見ながら協議する。

廃家電リサイクルに 対する規制とは

Q ごみ 無料回収と称して不用品回収業者が家電製品を「違法に回収」と聞くが実態は。また指導は。

A 市長 国の調査報告では家電４品目については法以外の海外流出は22年度推計で年間約13％、小型家電は約25％を占める。廃棄物該当性があるものは調査や是正指導をしていく。

他の質問 雇用、定住

つやま市議会だより
―あなたと市議会を結ぶ―
73号　2014. 11. 10　発行／津山市議会　編集／広報調査特別委員会　〒708-8501　津山市山北520　TEL／0868-32-2140　FAX／0868-32-2160　E-mail／gikai@city.tsuyama.okayama.jp

第４回議会報告会

日時：10月１日（水）午後６時～８時
会場：加茂町公民館・勝北公民館・中央公民館・津山東公民館
参加：４会場で合計71名

報告会の中で参加の皆さんからいただいたご意見・ご要望をまとめましたので、主なものをご紹介します。

ご意見 津山市の財政状況は大丈夫？
議会の回答 地方交付税が今後大幅に減り、土地開発公社の整理の償還も続く。様々な面で財政は厳しくなるが、我々議会も市の財政状況をきちんとチェックしていく。

ご意見 新クリーンセンターは予定どおり稼働するの？
議会の回答 造成及び本体施設工事に着手しており、27年12月に向けて工事が進んでいる。

ご意見 議員定数は現行（28名）のまま？
議会の回答 議会活性化調査特別委員会で鋭意論議し、委員会では現状維持を結論とした。

ご要望 県道の整備促進を市議会からも要望を！
議会の回答 道路整備に対する地元の方々の要望をまとめて、直接市議会に届けてほしい。

ご要望 米の消費率を上げるための方策を！
議会の回答 市独自の振興策を多角的に考えていく必要がある。給食センターで米飯ラインが稼働し始めたことも含め、米粉の活用も一案かもしれない。

その他のご意見・ご要望
政務活動費の利用状況、消防団のデジタル無線機の増設、学力向上に対する取り組み、健康づくり、各種保険料の増額を抑制する取り組み、津山駅前整備など

リニューアルした議会だよりにご意見をお寄せください

記事の内容や読みやすさなど、市民の皆さんからご意見をいただき、紙面づくりの参考にしたいと考えています。次の項目について、郵送、電子メールまたはファクシミリで議会事務局までお寄せください。

①73号の中で一番印象に残った記事は
②73号全体をお読みになっての感想
③議会の活動に対するご意見やご要望など

お送りいただく際は、宛名、件名などを「議会だより感想」としてお送りください。

飯田市議会議長が津山市を表敬訪問

津山市と市政提携都市縁組を締結している長野県飯田市議会の林幸次議長と議会事務局長が８月、川端議長、宮地市長を表敬訪問されました。林議長は公務で岡山県へ訪問中のところ、津山へお立ち寄りになりました。懇談では提携の今後について協議を行い、さらなる協力体制の構築に向けて確認しました。

表紙写真の紹介

東幼稚園	通園している子どもたちは47人。撮影はおゆうぎ室に並んでハイチーズ。とっても元気ないい顔をしてくれました。ありがとう！
大崎幼稚園	通園している子どもたちは16人。撮影は園庭にあるジャングルジムにのぼってパチリと１枚。これからもお外で元気に遊ぼう！
河辺幼稚園	通園している子どもたちは30人。撮影は運動会の日、あいにくの雨模様で急遽体育館でハイチーズ。記憶に残る運動会になったかな？

編集後記

広報調査特別委員会　〔委員長〕末永弘之　〔副委員長〕安東伸昭
〔委　員〕秋久憲司　岡田康弘　岡安謙典　黒見節子　竹内靖人　吉田耕造

超高齢者社会を迎える2025年。住みなれた地域で自分らしい生活が続けられる「地域包括ケアシステム」の構築が急務です。（謙）

今議会では、広島市の災害に関連して津山市の災害対策の発言、条例では子ども・子育て３法に関する子育て関連条例での発言が目立ちました。（節）

つやま市議会だよりは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑紙）にご協力ください。